

タチバナ

Citrus tachibana (Makino) C. Tanaka

ミカン科
Rutaceae

カテゴリー

大分県 IB
環境庁 II

選定理由 県内では石灰岩地に生え、生育地は極めて希で、個体数も僅少。確認された生育地は人里近くの林内にあって、森林伐採や人による採取などで、絶滅の危険性が高い。

県内分布 石灰岩地域

分布域 本州(静岡・愛知・和歌山・山口) 四国 九州(福岡・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島) 沖縄
韓国(済州島) 台湾

生育環境 石灰岩地の林内。

現 状 確認されたタチバナは数株。開花し、実をつけるものもある。

備 考 津久見市長泉寺のタチバナは、周辺の石灰岩地に自生していたものを移植したとされていたが、1994年に枯死した。

ヒナノカンザシ

Salomonina ciliata (L.) DC.

ヒメハギ科
Polygalaceae

カテゴリー

大分県 情報不足
環境庁 掲載なし

選定理由

県内分布 (別府湾沿岸域)

分布域 本州 四国 九州(福岡・佐賀・長崎・大分・宮崎・鹿児島)
朝鮮半島(南部) ~ 台湾 ,インド ,マレーシア ,オーストラリア

生育環境 低地のため池湿地。

現 状 「別府湾沿岸域」で採集されているが、その後の生育状態は不明。

備 考 国立公園指定植物 [瀬戸内海]

イワタイゲキ

Euphorbia jolkinii Boiss.

トウダイグサ科
Euphorbiaceae

カテゴリー

大分県 準
環境庁 掲載なし

選定理由 県内では海岸の岬や島の岩場に生育し、個体数は少ない。しばしば小群落をつくる。大波による被害や海浜のレジャーによる影響で、生育環境の悪化が懸念される。

県内分布 姫島・国東海岸、豊後水道域

分布域 本州(房総半島以西) 四国 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島) 沖縄
台湾 朝鮮半島

生育環境 海岸の岩場。

現 状 生育地ではいずれも小群落で株立ちするが、個体数は限られている。しばしば台風などで被害を受け、流木などに埋もれて衰退した所がある。

備 考 国立公園指定植物 [瀬戸内海]